

長久手市行政評価票

事業番号	20	事業の名称	交通安全啓発事業	担当部署	部	課
					くらし文化部	安心安全課

事業の概要	交通安全思想の普及・啓発のため、交通安全街頭活動やキャンペーンの実施、高齢者や自転車利用者ほか市民を対象とした交通安全教室の開催等により、市民の交通安全意識の啓発、交通ルールの遵守や交通マナー向上を推進し、交通事故防止を図る。 ・交通安全啓発活動事業 交通安全街頭啓発活動(延44日、うち交通安全県民運動期間20日)、交通安全教室、啓発キャンペーン等 ・幼児・児童・生徒に対する交通安全教育 交通安全教室(幼児、児童)、児童自転車交通安全教室、指導者研修会(市内の幼稚園・保育園の保護者対象。幼児交通安全指導者育成を目的開催)、黄帽子・ランドセルカバーの配布(新入学児童対象) ・交通安全啓発グッズデザインコンクール作品募集事業				他市町の実施状況(近隣市町や先進都市の状況等を具体的に記載)	国、県始め各市町村で実施されている。																	
	事業期間	事業開始年度	-	終了(予定)年度		-	総事業費(単位:千円)	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H26予算	<table border="1"> <tr><th colspan="2">評価の見方</th></tr> <tr><td>A</td><td>現行どおり実施</td></tr> <tr><td>B</td><td>事業の改善</td></tr> <tr><td>C</td><td>他事業と統合</td></tr> <tr><td>D</td><td>運営主体の見直し</td></tr> <tr><td>E</td><td>事業の廃止の検討</td></tr> </table>	評価の見方		A	現行どおり実施	B	事業の改善	C	他事業と統合	D	運営主体の見直し
評価の見方																							
A	現行どおり実施																						
B	事業の改善																						
C	他事業と統合																						
D	運営主体の見直し																						
E	事業の廃止の検討																						
事業の対象(だれ、何に対して)	長久手市民(在学・在勤者、通過交通含む)				総事業費	うち	一般財源	3,505	2,831	3,202	2,605	3,300											
事業の意図(対象をどのような状態にしたいか)	交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣づける。					国費・県費																	
						地方債																	
						その他																	
						受益者負担額																	

事業を構成する事務事業	対象(だれ、何に対して)	目的				事務事業の実施結果	成果指標	成果			事業費(単位:千円)			評価			
		手段(いつ、どのような手段を使って)	意図(対象をどのような状態にしたいか)	H24実績	H25実績			単位	成果指標の目標値設定の根拠	H24予算	H24決算	H25予算	H25決算	H26予算	H25決算の主な内訳(単位:千円)	評価	評価の説明
① 交通安全啓発活動事業	長久手市民(在学・在勤者、通過交通含む)に	交通安全街頭活動への参加、交通安全教室の開催、キャンペーンの実施することで	交通安全意識の啓発、交通ルールの遵守や交通マナーの向上を図る	県民運動期間中の街頭活動延べ参加者3,514人、交通安全教室延べ参加者249人	人身事故発件数	404 414 392	前々年度実績(平成23年:430件)から前年実績(平成24年:404件)が6%減少しているが、400件とした目標が達成できなかったため、前年実績から3%の減少	3,505 3,202 3,300	2,831 2,605			啓発用消耗品代2,427、のぼり旗設置・撤去作業業務委託179	B 維持 削減	時代の情勢により様々に変化する交通安全上の問題に対し、時勢に応じた対策を効果的に実施してゆく必要がある。			
② 幼児・児童・生徒に対する交通安全教育	長久手市民(在学者含む)に	交通安全教室や指導者研修会の開催、交通安全黄帽子等の配布することで	交通安全意識の啓発、交通ルールの遵守や交通マナーの向上を図る	交通安全教室等延べ参加者1,356人、黄帽子等の配布計775組	人身事故発件数	404 414 392	前々年度実績(平成23年:430件)から前年実績(平成24年:404件)が6%減少しているが、400件とした目標が達成できなかったため、前年実績から3%の減少	※上記に含む ※上記に含む ※上記に含む	※上記に含む ※上記に含む ※上記に含む			※上記事業費に含む	B 維持 維持	時代の情勢により様々に変化する交通安全上の問題に対し、時勢に応じた対策を効果的に実施してゆく必要がある。			
③ 交通安全啓発グッズデザインコンクール作品募集事業	長久手市立小中学校生に	夏休みを利用し交通安全ポスターや標語など交通安全啓発グッズのデザインを募集し、受賞発表後に啓発グッズを作成することで	交通安全意識の啓発、交通ルールの遵守や交通マナーの向上を図る	交通安全啓発グッズデザインコンクール応募者310作品	応募件数	498 310 523	児童生徒の交通安全意識の高揚を応募総数で測ることとし、前年度実績(延べ498作品)の5%の増加	※上記に含む ※上記に含む ※上記に含む	※上記に含む ※上記に含む ※上記に含む			※上記事業費に含む	B 維持 維持	応募総数が減少していることから、応募総数を増加させ目標数が達成できるような事業改善を実施する。			
④																	

事務事業の改善内容	事務事業	改善内容(H26以降に実施する内容)	H26以降新規に実施する事務事業	事務事業	事業概要
	① 交通安全啓発活動事業	交通安全実施要綱に基づき、効果的な方法を模索しながら周知啓発に努める。具体的には、自転車利用の多い大学生に対し、大学の協力を得て交通ルール遵守、マナーアップの周知啓発を継続する。			
② 幼児・児童・生徒に対する交通安全教育	交通安全実施要綱に基づき、効果的な方法を模索しながら周知啓発に努める。具体的には、学校区単位で学校及び児童を取り巻く地域住民団体との連携を図る部会を立ち上げるなどし、地域性に応じた交通安全の普及促進に努める。				
③ 交通安全啓発グッズデザインコンクール作品募集事業	応募総数を増やすため、児童生徒の交通安全意識を高める必要がある。具体的には、小中学校での交通安全教室を増やすなどし、児童生徒が交通安全について考える機会を増やす。				